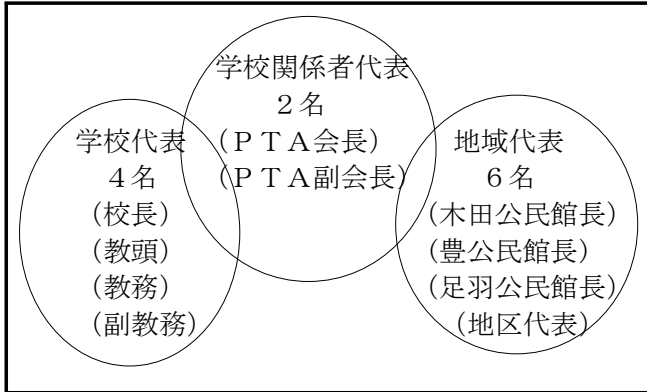


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市明倫中学校 校長 川上 晋

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の開催計画

- 開催回数…年間3回予定
- 開催日
 - 第1回 6月21日
 - 第2回 12月5日
 - 第3回 2月14日
- 協議内容
 - ・学校経営の実態に関すること
 - ・学校評価に関すること
 - ・家庭、地域、学校の連携に関すること

※地域コーディネーター(3名) 木田公民館主事・豊公民館主事・足羽公民館主事

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- ・地域資源を活用した体験活動を行うことで、地域の一員であることの誇りを持ち、地域づくりに貢献しようとする生徒を育成する。

(2) 活動の実際

①地域の担い手づくり(1年生)

- ・地域で働く様々な職業に携わっている方から、働くことの意義、喜びや仕事の特徴などを直接お聞きすることで、将来の心構えや夢をもたせ、職業に対する生徒の意識の向上をめざす。2月21日にはゲストティーチャーの講師から働くことの意義や生徒からの質問に答えていただいた。



②地域貢献活動(3年生)

- ・木田公民館の館長と公民館主事から木田地区の防災、防犯についての話や、公民館の地域での役割について話を聞き、その後バスで防災センターに行き、明倫地区の水害の様子などを聞き取った

内容をプレゼン方式で発表を行った。



③公民館まつり(全学年)

<足羽公民館まつり>

- ・足羽公民館まつりでは、吹奏楽部が簡単な劇や演奏を披露した。
- ・木田公民館、豊公民館まつりでは各生徒がおもちやフランクフルトなどの販売のボランティア活動を行った。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- すべての活動において、関係団体と学校をつなぐ窓口になってもらった。

(4) 特に工夫した事項

- 生徒どうしの議論を通して活動を作り上げること。
- 今年だけでなく来年度以降（後輩たち）にもつながる活動となること。

(5) 成果と課題

- 地域の方にあたたかく受け入れられ、喜ばれることで地域の一員であること誇りをもつ契機となった。
- 活動内容を積極的に地域に発信し、年々よりよいものにしていきたい。